

# 「ICHIGO BOY」が岡崎のイチゴをPRする！

西三河農林水産事務所農業改良普及課

**氏 名** 酒井 久憲さん

**経営類型** 施設野菜（イチゴ）

**市町村** 岡崎市

## 1. 経営概要

- (1) 経営規模 施設 4,800 m<sup>2</sup>（高設 2,600 m<sup>2</sup>、土耕 2,200 m<sup>2</sup>）
- (2) 労働力 家族3名、パート4名
- (3) 販売 生産部会による共販

## 2. 就農までの経緯

- (1) イチゴ農家の次男ですが、子供のころは親の仕事をあまり手伝っていませんでした。大学を中退して会社員をしていたころ、軽い気持ちで出願した園芸専門学校の入学試験に落ちてしまい、逆にそれをきっかけに、本気で農業を目指す決心をしました。



高設ベンチに培土を詰める酒井さん

- (2) 平成25年から静岡県の大規模イチゴ農家で2年間研修したあと、親元就農しました。就農にあたっては農業改良普及課に相談しながら就農計画を作成し、研修先を参考にした高設ベンチを入れた栽培施設を新しく設置しました。

## 3. 現在の取組

新しい施設で2作を経て軌道に乗ったことから、今年は既存の土耕ハウスにも、同じ高設ベンチを10a導入する予定です。

また、8年前から音楽活動を続けており、今は「ICHIGO BOY」として、JAまつりなどのイベントでは、ヒップホップでイチゴ品種「紅ほっぺ」をPRしています。



JAまつりで熱唱する酒井さん

## 4. 今後の抱負

岡崎市いちご部会は、技術レベルが高いものの、部会員の高齢化が進み、近年会員数と栽培面積が減少しています。将来的には、新規就農を希望する研修生の受け入れなど、産地の活性化にも積極的に取り組みたいです。

Copyright (C) 2017, Aichi Prefecture. All Rights Reserved.